

ことばの学校

小中学生のみなさま、ご父兄様へ

高校部講師 木根信行から推薦

「ことばの学校」には二つの大きな要素があります。

一つは、読書するということです。私の高校時代の友人で、升田裕久くんという人がいます。高校時代理系でありながら、国語の偏差値が80をこえていました。彼に「なんで国語がそんなにできるの」と聞いたとき、「あまりよくわからないが、小学生のとき祖母が国語の教師をしていたから本がたくさんあって、よく読んでいたからかなあ」と言っていました。私は、小学生のとき本一冊を読み終えることがなかなかできず、国語の成績が上がらませんでした。今分かったことは、書いていることをその通りに理解できる力がつけば成績は上がるということです。大学受験で最後に伸びる子は不思議と国語の出来る子です。升田くんは、京都大学に進み、UCバークレー校(世界最高峰の研究所)で10年研究した後、今は東京理化学研究所にいます。今日私は大学受験に携わっていますが、国公立大学へ進学する際、国語が出来る人はかなり有利であることをお伝えします。

二つ目は速読が出来ることです。私自身、5倍速までの機械を購入して速読を体験しているのですが、「ことばの学校」は8倍速まで可能であることが、より素晴らしいものといえます。速読をするときは脳の使用部分が通常の使用部分と異なるので、能力開発にも役立ちます。

2. 5倍と3倍の間でひとつのラインがあるので、小学生はそのあたりを目標とすればよいでしょう。5倍速になると脳のことばをつなげる能力が必要で、優秀な生徒はそこを目標とすればよいと思います。先日NHK「解体新ショー」で言っていたのですが、脳には文字を見ながら音の断片をつなげ、文字を音として聞こえるようにつなげる力があり、その脳の力は通常とは別のところのものを使うそうです。集中力ややる気が出てくるのも速読による分泌物の効果でもあるそうです。5倍速で集中すると気持ちがよくなります。大阪の紀伊国屋という大手の本屋の速読コーナーの前で多くの若者がいろいろな本や方法を探っているのをみますと、手軽に能力開発できる時代になってきたのだなと思います。

このたび、私も5倍以上にチャレンジするため受講しました。大人の人も、子どもと共に能力をアップして、仕事への集中力ややる気を挙げてみませんか。

ちなみに私の5倍速用の機械は40万円もしました。このことをふまえても、手軽に能力開発できる「ことばの学校」を推薦いたします。

明正ゼミナール 高校部
木根信行